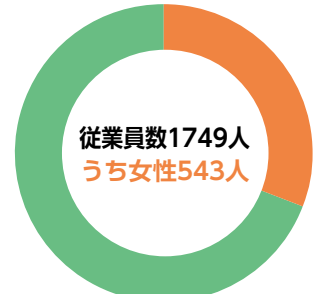


製造業

中西金属工業  
株式会社

大阪市北区

[主な業務]  
ベアリングリテーナー、コンベアシ  
テム、住宅関連部品



女性管理職2人  
女性管理職比率1.1%

# 職場環境と制度で 会社生活が充実 「子育てでも頑張れる」



▲左から 近藤江里加さん、近江佳代子さん

JR天満駅からすぐ。ビルの谷間に歴史を感じさせるレンガ造りの建物が立ち並び、ベアリングリテーナーやコンベアシステムの中西金属工業。「名前は硬いですが、女性が働きやすい柔軟な会社です」。

そう話すのは輸送機事業部の近江佳代子さん。平成19年にキャリアを生かして転職し、現在は主に自動車メーカーのプラントに入れるコンベアの貿易業務を担当している。

## 社内託児所を利用して早期に復職

昨年1月に2人目を出産し、10カ月で復帰。毎朝、敷地の一角に建てられた託児所に子どもを預け、1時間の短制度を利用して仕事を続けている。「赤ちゃん連れ出勤は2回目。ちょうど入社2年目に第1子を出産した時にタイミング良く社内託児所ができました。家の近くの保育園は入園待ちで、早く仕事に復帰したかったのでありがたかったです」と、近江さん。

輸送機事業部は、レンガ造りの紡績工場を改装した建物にある。フロアは



▲世界各地のプラント作りをサポート



▲1時間早く仕事を切り上げ、託児所へお迎えに

天井が高くて明るい。近江さんは、「全世界に製品を輸出する貿易の仕事は複雑ですが、一つのプラントが完成するたびに大きなやりがいを感じます」とパソコンに向かう。

時短でも業務が回るように職場全体で仕事量をマネジメント。子どもが急病の時などに備えて進捗状況をオープンにし、フォローし合う良好な関係ができていくという。

会社では社員のワーク・ライフ・バランスのために体制を見直し、残業削減、有休取得を推進している。「残業を減らそうという空気が社内に醸成され、2人目ができてからの方が子育てのために早く帰りやすくなった」と、近江さんは実感している。

午後4時半に仕事を終えて託児所で長女を引き取り、電車で長男の待つ自宅近くの保育園へ。毎日目の回るような忙しさだが、「会社生活が充実しているから子育てでも頑張れるのかもしれない。世界経済は動いているのでさらに勉強して、例えばEPA(経



▲「仕事が面白いので毎日が充実しています」と、近江さん

済連携協定)ならまかせてと言えるようになった」と、近江さんは瞳を輝かせる。

## 女性活躍推進プロジェクト実施

会社では人口減少社会を見越して、もっと女性が活躍できる会社を作ろうと、平成25年に「女性活躍推進プロジェクト」を実施。各事業部から女性社員が集まり1年かけて課題を検討し、教育研修や制度改定、設備の充実に取り組んできた。

重い扉に車をつけて開けやすしたり、段差をフラットにしたり。またユニフォームを透けにくくポケットの多い女性仕様に切り替えるなど、細やかに対応。人事総務部の近藤江里加さんは、「これまで上がってこなかった女性の声を拾って働きやすい職場をめざしています」と、話す。

女性社員がいきいきと働く姿を紹介するパンフレットを作成し、女性の採用に力を入れている。設計など男性の多い職場にも女性が増えてきた。